

邸園文化伝道師とめぐる

日本庭園・和風建築

2025

・事前申込制、先着順
・現地集合・現地解散

日本全国で使える「みかた」が身につく!! 「茶室と茶庭のみかた」講座

各地で盛んに催されている茶会において、茶道具の取り合わせや点前に関心を払っても、その場となる茶室や茶庭をじっくりと味わう方は多くないようです。講座では、まず茶道を習ったことがない方にもわかりやすく、しかも全国の茶室と茶庭(露地)で使える鑑賞メソッドを学びます。そして、そのメソッドを使ってなかなか入ることができない茶室を深く鑑賞します。 ※講座では茶道の歴史、茶人、茶道具、点前、作法等は扱いません。

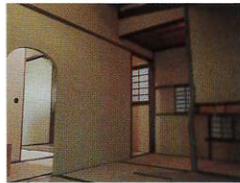
【メソッド化のメリット】

- ・茶室鑑賞の際に見るべき点を見逃すことが少なくなる
- ・得た情報と体感が蓄積されやすくなり、鑑賞眼が早く磨かれる
- ・今見ている茶室と過去に見たことがある茶室を比較しやすくなる

会場:都筑民家園 茶室「鶴雲菴」「輪亭」

神奈川県横浜市都筑区大瀬西2番

鶴雲菴(かくうんあん、三畳台目)、輪亭(りんてい、八畳)は都筑民家園内に2010(平成22)年に造られた茶室です。地域の篤志家の資金的な援助を受けた「都筑民家園に茶室を贈る有志の会」が基本設計から関わり、近年造られた公共施設内の茶室のなかでも風情のある茶室に仕上がっています。



会場:都筑民家園 茶室「鶴雲菴」「輪亭」

日程:6月27日(金) 14:00~15:40頃

主催:NPO法人都筑民家園管理運営委員会 共催:庭屋一如研究会
※詳細は裏面をご覧ください。



会場:国指定名勝「三溪園」 国指定重文茶室「春草廬」

神奈川県横浜市中区本牧三之谷58-1

近大三茶人のひとり、原三溪により造られた三溪園の池泉回遊式庭園には、大規模な茶会を催すこともできるよう、いくつもの味わいある茶室が点在しています。その中でも春草廬(しゅんそうろう、三畳台目)は織田有楽好みの江戸初期建築の茶室を移築したものと伝えられ、国の重要文化財に指定されています。



会場:三溪園 茶室「春草廬」

日程:6月30日(月) 14:00~15:40頃

主催:庭屋一如研究会 共催:公益財団法人三溪園保勝会
※詳細は裏面をご覧ください。



企画①~⑥は「JR東日本 大人の休日倶楽部パス」利用期間中の開催です。

① 茶室のみかた講座@都筑民家園「鶴雲菴」「輪亭」

6/27
(金)

・会場 都筑民家園 茶室「鶴雲菴」「輪亭」

神奈川県横浜市都筑区大瀬西2番

・日程 6月27日(金)14:00~15:40頃

・定員 10名 最少催行人数:8名

・参加費 3,500円(資料代を含む)

・主催 NPO法人都筑民家園管理運営委員会

共催 庭屋一如研究会



お問合せ/お申込み
企画①~⑥ 共通

メールにて、企画名、人数、申込者氏名、住所、メールアドレス、携帯番号をお知らせください。
(メール不可の場合、電話でも承ります)

mail teiku@grace.ocn.ne.jp tel 080-7115-2644(藤井)

・感染症、天候などの影響により、主催者の判断で開催を中止する場合があります。



ていおくいちによ

庭屋一如研究会の活動

●愛好者をふやす・次世代につたえる

庭屋一如とは庭と建物が調和し一体となった状態のことを指し、古来日本人はそのような環境で暮らしてきました。しかしながら、戦後次第に庭と建物(座敷)が切り離された住まい方になるにつれ、我々の意識も庭屋一如から離れていきました。

当会は講座や見学ツアーを通じて、庭や建物が造られたころの使い方を解説し、参加者に自力で鑑賞できる「みかた」=庭屋一如鑑賞メソッドを身につけていただいています。

庭屋一如研究会は

「和風建築と日本庭園の愛好者をふやす・後世にのこす・次世代につたえる」ことを目的に活動しています。

●後世にのこす

素晴らしい庭や建物を後世にのこすために、それらの施設に脚光をあて来場者を増やすとともに、貴重な文化財としての認知度を高める文化観光企画を立ち上げています。

当会主宰の藤井は民間ボランティアベースの企画で、

・新潟県北半部の日本庭園と温泉地を結ぶ広域観光企画『にいがた庭園街道』

・新潟県上越市に残る個人所有旧家の保存活用を図る『上越名家一斉公開』

・新潟市で日本庭園3様式のみかたを2時間で学ぶ『西大畑3庭園めぐり』

・邸園を活用した地域のファンづくり企画『庭園ガストロミーウォーク』

などの発起人をつとめ、成功に導いています。

「庭屋一如研究会」Facebook▶



庭屋一如研究会 主宰 藤井哲郎